

エネルギーのプロフェッショナルFURUKAWAが

# LPガスで解決

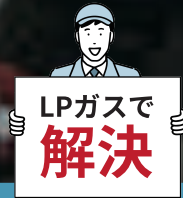
灯油・重油からの燃料転換



## 燃料代・経年劣化

- 修理代や油代もキツイ。
- ボイラの機嫌が悪い。
- メンテナンスが大変。

LPガスのボイラなら高効率かつ負荷に追従した燃焼で燃料代を削減。マルチ給湯器なら、もしもの時のバックアップが可能



## 労務コスト

- 始動、停止時のメンテナンス
- 管理に時間と手間がかかる
- 早朝出社、残業、長時間労働

ワンタッチですぐ始動！ボイラ停止後の油配管メンテナンスや油燃料の残量管理・発注が不要です。



## 投資コスト

- 出来ればLPガスにしたい
- どんな補助金があるか不明
- 申請の手間が面倒

LPガスへの燃料転換には補助金が適応されます。面倒な申請も古川がワンストップで対応。ご安心を！



## 環境問題

- 環境問題に取り組みたい
- ボイラ周辺の臭いや汚れ
- 町の自然を大切にする責任

LPガスはクリーンなガス体燃料でボイラ周辺の汚れ、臭いが発生しません。灯油、重油より省エネ・CO2削減に。

## 格式高い箱根の温泉旅館が選んだ燃料はLPガス

「30年目の模様替え」として、2023年2月13日にリニューアルオープンした和心亭豊月の杉山慎吾専務取締役役にお話を伺いました。芦ノ湖を望む格式高い温泉旅館が、重油からLPガスに燃料転換した意図、そして数あるガス会社から古川を選んだ理由とは？



専務取締役 支配人  
杉山慎吾氏

### 「30年目の模様替え」で燃料転換、新たな時代はLPガスで

箱根という観光地に生かされながら訪問者を受け入れ続けてきた和心亭豊月は2023年2月、リニューアルオープン。芦ノ湖を一望する「和モダン」「数寄屋和室」「和洋室」など7タイプ全16室、春夏秋冬を五感で味わえる景観と料理一。刻んだ歴史と伝統を上塗りする「30年目の模様替え」を果たした温泉旅館を支える燃料は、重油からLPガスへと転換した。



露天風呂「出会い月〜灯〜



半露天風呂から芦ノ湖一望の「豊月自慢の特別室」

杉山氏 温泉旅館の大規模リニューアルにあたり、「燃料転換」は最重要課題でもありました。箱根は大自然に囲まれてますし、SDGsの観点からもクリーンエネルギーへの転換は必要不可欠です。私自身はあと30年で現役を退くでしょうから、その「30年間を安定供給できる燃料」が絶対条件でした。最大の問題は空調で、それまではヒートポンプで「冷」は冷却水循環装置のチラー、「暖」はボイラー炊きのお湯を館内に温水循環していました。大出力のボイラーと機能も必要になり、その配管も30年経てばメンテナンスも出来ないレベルに劣化しますし。空調は電気ですること、残る問題は給湯でした。温泉旅館として給湯は最も重要で、色々調べていくうちに、最も効率的なマルチ給湯器に行き当たりました。30年前はありませんでしたし、間違いなくエコなのと、故障してもバックアップ運転



新設したマルチ給湯器

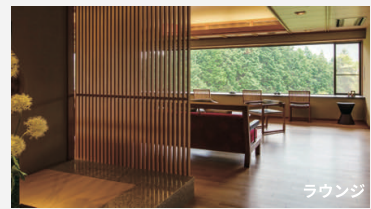
ができるマルチ給湯器にしました。リニューアルオープンから7か月が過ぎましたが、LPガス、マルチ給湯器への転換は本当に良かったと思います。ボイラーは従業員誰も触れたくないというのが本音で、配管が複雑でしたので。当時はボイラーに暖房、給湯、熱交換と3系統が行き交っていました。マルチ給湯器で、視覚的な安心感と、もしもの時のバックアップがある安心感を得られたことは大きいです。7台のマルチ給湯器がある中で、常時動いているのは2台ですが、エラー時に「〇号器がエラー」とのお知らせと同時に、他の正常な給湯器にローテーションで切り替えてくれるので助かっています。

### 買って終わりではないガスは「向こう30年間、お任せできる」古川で共に未来を

「30年目の模様替え」で重油からLPガスへ、ボイラーからマルチ給湯器へと、新たな時代に適した燃料と体制を纏った和心亭豊月。温泉旅館のリニューアル最大の課題として掲げた燃料はLPガス。数あるガス会社の中で、古川を選んだ理由は、



客室から見る芦ノ湖



ラウンジ

杉山氏 実は株式会社古川の古川剛士社長、大司副社長とは10数年前に小田原の飲食店で会いしていました。一緒にいた先輩から紹介される、よくあるパターンです。その後は特に何もなく過ごしていましたが、やはり小田原や箱根エリアでは「古川」「FURUKAWA」の文字を耳にしたり、目にする機会も多く、ガスだけではなくオール電化・太陽光・リフォームなど常にイノベーションし続けていて、気にはなっていました。フットサル湘南ベルマーレのスポンサーをされたり、地域密着イベントを開催されたり、色々なつながりを大切にされている印象がありました。

私自身、試行錯誤しながら挑戦し、イノベーションしていく姿勢を大切にしていますので。古川は箱根にも営業所がありますし、しっかりと対面コミュニケーションが取れますし、もしもの時にもすぐに駆けつけてくれる安心感も大きいですね。古川ならではの担当制も安心材料の一つです。



杉山専務と担当の高橋

和心亭豊月を担当して下さる高橋さんは私と年齢も同じですし、本当に優しく丁寧に対応していただいています。古川の社風なのでしょうか、皆さん自然体で優しいところからも、「一緒に前に進もう」との雰囲気伝わってきます。

こちらの疑問や質問に対する返事も早く的確で、これなら「向こう30年間、ガスは古川にお任せしたい」と思いました。イノベーションを続けることが、結果として伝統になると考えていますし、革新的な古川と共に未来に歩んでいければと願っています。

記事の全文はフルTIMESから

特別コラム

和心亭豊月 × FURUKAWA

